

平成25年12月5日

一般財団法人 熊本放送文化振興財団
理事長 小堀 富夫 様

〒860-8611
熊本市中央区山崎町 30 熊本放送内
熊本ルネッサンス県民運動本部
会長 吉丸 良治
(肥後熊本大会実行委員会会長)

平成25年度一般財団法人熊本放送文化振興財団助成事業実施報告書

平成25年10月24日に助成金交付いただきました事業が完了しましたので、
下記のとおりご報告いたします。

記

1. 助成事業の内容

事業名 歴史研究会創立55周年記念「第29回全国大会肥後熊本大会」

2. 添付書類

- (1)事業実施報告書
- (2)収支決算書(熊本実行委員会)
- (3)参加者名簿(熊本関係参加者)
- (4)参考資料①:歴史研究会本部運営委員会負担費用(請求書)
- (5)参考資料②:掲載新聞記事

以上

事業担当連絡先
熊本ルネッサンス県民運動本部 事務局
〒860-8611 熊本市中央区山崎町 30 熊本放送内
TEL/FAX 096-328-5638
E-Mail runesansu@rkk.jp

平成25年度一般財団法人熊本放送文化振興財団助成事業実施報告書

平成25年12月5日

一般財団法人 熊本放送文化振興財団
理事長 小堀 富夫 様

[報告者]
〒860-8611

熊本市中央区山崎町30 熊本放送内
熊本ルネッサンス県民運動本部
会長 吉丸 良治
(肥後熊本大会実行委員会会長)



下記の事業が完了しましたので報告いたします。

記

事業名	歴史研究会創立55周年記念「第29回全国大会肥後熊本大会」
開催期間	平成25年10月18日(金)～25年10月20日(日)
会場	熊本交通センターホテル6階 菊の間 (10/18) 現地 (10/19:熊本市内 10/20:山鹿市周辺)
参加人数	総参加者数:280名 ・県内 150名 (ルネッサンス会員、一般) ・九州内: 21名 ・西日本(中国,四国,近畿) 38名 ・その他国内 71名 ・国外 0名
記念講演	・「古代ロマンの宝庫くまもと」 崇城大学芸術学部講師・元九州考古学会長 島津義昭氏 ・「近世史研究の最前線—永青文庫細川家史料から—」 熊本大学文学部附属永青文庫研究センター副センター長 稲葉継陽氏

歴史研究会創立55周年記念
「第29回全国大会肥後熊本大会」収支決算書（熊本実行委員会負担分）

開催日 平成25年10月18日・19日・20日

会場 熊本交通センターホテル, 現地(熊本市、山鹿市周辺)

収入の部

(単位:円)

項目		予算額	決算額	備考
参加費	講演	300,000	0	式典・記念講演 @0×150人
	交流会(歴研会員)	1,200,000	0	歴史研究会会員:本部扱い
	交流会(熊本参加者)	320,000	177,000	交流会 @4,000×44人
	見学会①(10/19)	1,080,000	35,000	見学会① @5,000×7人
	見学会②(10/20)	600,000	70,000	見学会② @5,000×14人
助成金	熊本国際観光コンベンション協会	150,000	0	
	熊本放送文化振興財団助成金	0	100,000	
寄付金・広告料		300,000	764,000	協賛広告・名刺広告料(大会資料掲載)
未収金(助成金、広告料)			180,000	コンベンション協会助成金:¥150,000 岩田CO. (11月末入金):¥30,000
収入合計		3,950,000	1,326,000	

支出の部

(単位:円)

項目		予算額	決算額	備考
式典・記念講演費	会場使用料	320,000	174,000	式典会場費、来賓・講演者・アトラクション関係控室使用料
	会場設営費	75,000	69,524	講演関係機器(ホィンタ)、設営消耗品
	講演謝礼	100,000	10,525	講演テープ起し謝礼(1講演分)
	司会者謝礼	20,000	20,000	司会1名
	熊本物産展示ブース設営費	50,000	16,600	展示即売スタッフ謝礼、コンベンションバッグ
交流会費	料理・飲物代*	1,300,000	177,000	飲食費@4,000×44人
	アトラクション謝礼	100,000	70,210	郷土芸能(福島竹峰社中、藤間白扇社中)
見学会費	貸切バス代*	525,000	0	見学会参加費に含む
	見学経費(10/19)*	300,000	35,000	見学会①入場料・駐車料・昼食代・傷害保険など
	見学経費(10/20)*	200,000	70,000	見学会②入場料・駐車料・昼食代・傷害保険など
	バス内講師(謝礼、補助)	150,000	148,076	延べ7名
	見学会下見	50,000	40,000	
開催準備経費	大会資料作成費	150,000	120,195	印刷代(ポスター・チラシ含)、事務用品
	連絡通信費	150,000	149,930	郵送代、事務連絡人件費
	会議費	110,000	95,740	大会広報
予備費		350,000	0	
未払金			129,200	「歴史研究」(大会報告書掲載)@1,400×85, 送料@120×85
支出合計		3,950,000	1,326,000	

肥後熊本大会 熊本参加者名簿 (式典・講演・交流会座席表付)

順不同・敬称略 2013.10.18

式典時 席	ご氏名	式・講 A	交流会 B	見学会① C	見学会② D	備考1
あ	青木 良子	○				
	実委5 秋元 俊郎	○	○			ルネッサンス幹事・熊本日日新聞社事業局長
	荒木 信道	○	○			
	荒木 眞紀子			○	○	
	有吉 郁子	○				
い	池上 正示	○	○			本妙寺住職
	池田 明敏			◎	◎	
	池辺 洋行	○				
	勇 知之	○	○			作家・郷土史家
	磯辺 壽子			◎	◎	
	来賓6 稲葉 継陽	○				熊本大学文学部附属永青文庫研究センター副センター長
	猪股 健	○				
	岩田 英志	○	○			ルネッサンス幹事・岩田コーポレーション代表取締役社長
う	上野 眞也		○			ルネッサンス幹事・熊本大学政策創造研究教育センター教授
	上農 忍	○	○			
	上村 孝子	○				永青文庫研究センター
	笠場 達	○	○			
	実委6 笠場 佳江	○	○			ルネッサンス幹事・(一財)熊本県伝統工芸館評議員
	浦部 征憲	○	○			
お	大石 直子	○				
	太田 藤徳			○		熊本地名研究会
	大村 祐二	○	○			(株)マインド代表取締役
	岡田 晃彦	○				
	奥村 良博		○			熊本県文化協会事務局長
	鬼木 俊一	○				
	小原 忠隆	○	○			(公社)熊本県観光連盟専務理事
か	加藤 幸子	○				
	金森 榮子	○				
	カミカタグチ 上潟口 敏明	○				
	川口 馨子	○				
	川田 弘正	○				
	実委2 河村 邦比児	○	○			熊本日日新聞社常務取締役
	川村 至誠	○				
き	木野 哲男	○				
	木村 栄男	○	○		○	
く	工藤 四朗	○				
	工藤 良一	○				
	桑原 修			◎		社会福祉法人託麻会 朋暁苑事務長
こ	小出 史	○	○			ルネッサンス幹事・フリーアナウンサー
	古閑 八重美	○			◎	
	小崎 龍也			○		熊本地名研究会
	後藤 邦夫	○				
	後藤 典子	○				永青文庫研究センター
	小堀 俊夫	○	○			(株)肥後銀行総合企画部副部長
	来賓3 小堀 富夫	○	○			ルネッサンス特別顧問・熊本放送最高顧問

式典時 席	ご氏名	式・講 A	交流会 B	見学会① C	見学会② D	備考1
さ	齊藤 典子	○				
	齊藤 寛	○				(一財)熊本国際観光コンベンション協会専務理事
	齊藤 保夫	○				熊本市中央区役所次長
	佐伯 和典	○				熊本県東京事務所長
	坂口 幸裕	○				
	実委7 坂本 尚文	○	○		○	(一財)熊本県伝統工芸館業務課長
	坂本 美保子				◎	
	佐々 瑞雄	○	○			熊本県文化協会専務理事
	佐藤 せい子	○				
	佐藤 真澄	○				
	三藤 保栄	○				熊本放送総務局専門部長
し	重浦 睦治	○				(一財)熊本国際交流振興事業団専務理事
	柴田 佳奈	○				永青文庫研究センター
	来賓5 島津 義昭	○	○		○	崇城大学芸術学部講師、元九州考古学会長
	清水 順子	○				
	下山 史一郎	○				ルネッサンス幹事・(株)肥後銀行取締役専務執行役員
	白瀬 貴美子	○	○			熊本酸素(株)・熊本医療ガス(株)・くまさんガス(株)代表取締役社長
す	杉田 成女	○				
	杉光 定則	○	○	○	○	ルネッサンス事務局長・熊本放送取締役総務局長
	杉本 幸子	○	○			
た	高濱 祐子	○				
	田上 聖子	○	○			熊本市観光文化交流局次長
	高村 郁世				◎	
	竹下 秀子	○				
	田代 義和	○	○			
	橘木 和久	○	○			NTT西日本熊本支店 地域ふれあい推進室長
	立原 智代	○	○			
	立石 邦子	○				ルネッサンス幹事・自立の店「ひまわり」代表
	田中 捷子	○	○	◎		
	田中 千鶴子				◎	
	田邊 國治	○	○			
	田邊 洋和	○				熊本県観光課
	谷 喜美子	○				永青文庫研究センター
	来賓8 谷川 多恵子	○	○			崇城大学監査役 (中山峰男学長代理)
	谷口 功		○			ルネッサンス副会長・国立大学法人熊本大学学長
多堀 亜夫	○					
ち	筑紫 汎三	○				
	つ	辻 春美	○			
堤 克彦					○	熊本郷土史譚研究所長
恒松 親		○				
津山 博		○				
と 来賓4 土井 郁夫	○				NHK熊本放送局局長	
な	中川 久	○				

式典時 席	ご氏名	式・講		交流会	見学会①	見学会②	備考1
		A	B				
	中島 尚子	○	○				中島フラワーデザインスクール
	永田 幸一	○	○	◎	◎		
	中村 歩					◎	(株)マインド
に	西島 眞理子	○					
	西田 光子	○					
	西山 耕二郎					○	
の	野方 正治	○	○				エフエム熊本代表取締役社長
	野島 透		○				九州財務局長 ※祝宴時紹介アケウスを→吉成氏へ
	野島 隆一	○					
	乃美 勝彦	○		◎	◎		
ひ	久ヶ枝 京子	○					
ふ	福嶋 美和子	○					
実委8	福水 秀章	○					九州産交ツーリズム(株)旅行事業部長
	藤井 京子	○	○			○	熊本ルネッサンス県民運動本部事務局員
	藤本 博	○					
実委9	藤吉 洸	○					熊本地名研究会事務局長
	二子石 幹男	○					
	古荘 信次	○					
ま	前田 春久	○					熊本県立美術館副館長
	前淵 啓子	○	○				熊本市中央区長
来賓2	牧 慎太郎	○					熊本市副市長
	松石 龍太郎	○					熊本市観光文化交流局 文化振興課長
	松下 純一郎		○				熊本日日新聞社役員待遇編集局長
	松下 英明	○					
	松田 加洋子	○	○				
	松田 幸正		○	○	○		
	松前 眞	○					(株)熊本放送常務取締役
	松本 重昭	○	○				
み	水町 登代子	○					
	養田 勝彦	○					
	宮本 幸一	○	○	○			熊本地名研究会
実委3	村上 輝和	○	○				ルネッサンス常任幹事・熊本放送専務取締役
来賓1	村田 信一	○					熊本県副知事
	村本 尚和	○				◎	
も	毛利 秀士	○	○				一新校区自治協議会長
	守田 勉	○	○				
	森元 末光	○					九州産交ツーリズム(株)取締役
	森山 高信	○					
や	山口 浩輔	○					
	山口 康博	○					
ゆ	杵ノ木 昭二	○	○				(株)マインド取締役
よ	横田 堅		○				熊本県立美術館長
	吉岡 和宏	○					
	吉丸 喜代子	○	○			◎	

式典時 席	ご氏名	式・講	交流会	見学会①	見学会②	備考1
		A	B	C	D	
実委1	吉丸 良治	○	○			ルネッサンス会長・熊本県文化協会長
	米村 恵實子	○				
わ 実委5	渡辺 和子	○				熊本県観光経済交流局観光課長
	渡辺 純一	○	○			
	渡辺 徹	○				
当日 参加	中川 久	○	○			
	松倉 安治	○	○			
	山下 潤子	○	○			

コース別参加者数	10・18
A	118 + 32 (≒)
B	54
C	12
D	20

歴史愛好家 熊本に集え

10月、全国大会 記念講演や見学会

全国的な歴史愛好家団体「歴史研究会」（東京都）の第29回全国大会肥後熊本大会が10月18～20日の3日間、熊本市中心区桜町の熊本交通センターホテルを主会場に県内各地で開かれる。

同研究会は1958年に歴史愛好家の研究発表の場として発足し、今年創立55周年。3千人以上の正会員があり、毎月発行している「歴史研究」は600号を超える。

全国大会は毎年、各地で開催しており、今回

は全国歴史研究会本部運営委と、肥後熊本大会実行委（実行委員長・吉丸良治県文化協会長）の主催。

初日は午後1時半から同ホテルで式典の後、稲葉継陽・熊本大永青文庫研究センター副センター長が「近世史研究の最前線」永青

文庫細川家史料から「元九州考古学会長の島津義昭さん（益城町）が「古代ロマンの宝庫くまもと」と題して講演。午後6時からは交流会も予定されている。

19・20日は、細川家の菩提寺・泰勝寺や熊本城、靈巖洞、田原坂古戦場、鞠智城跡公園などを巡る見学会がある。講演会は無料、交流会と見学会は有料。いずれも参加希望者は9月25日までの事前申し込みが必要。大会実行委事務局の熊本ルネッサンス県民運動本部

638。
☎096（328）5

全国大会

熊本大会



全国的な歴史愛好家団体「歴史研究会」(事務局・東京都)の第29回全国大会肥後熊本大会が10月18~20日、熊本市中央区桜町の熊本交通センターホテルを主会場に県内各地で開かれる。歴史家・作家で、同会の月刊誌「歴史研究」の編集委員を務める加来耕三さん(東京都)に、創立55周年を迎える同会の活動などについて寄稿してもらった。

七つの金字塔打ち立てよう

「歴史研究会」第29回全国大会 肥後熊本大会に寄せて

—— 歴史家・作家 加来 耕三



◇かく・けんぞう 1968年、大阪府生まれ。奈良大文学部史学科卒。著作に「勝海舟水川清話」の知恵「真説 黒田官兵衛」など。本誌読書会で「加来耕三が執心」も執筆中。

「歴史研究会」というのは、実に妙な会である。「歴史を学ぶ」として「歴史を学んでいる人」「歴史の学びを支えている人」を「宝の中の宝」として、この会には集まっている。その発表を聴講している人々、じつに妙な会だが、進めようとする歴史が、これほど多く存在するのだから、この感懐が、学究者として胸を占める。

「歴史研究会」は、創立50周年の、宣言である。そのゆえか、「歴史研究会」は堂々と、「道楽歴史学」を提唱した。創立50周年での、宣言である。

「道楽歴史学」とは何ぞか。趣味歴史学や職業歴史学ではなく、私財を費や、私財

を投じて、七金字塔を築く。第一に古典を聴き、旅に出る。出会いに感動し、「謎」を解くことであり、第二に、先人の生き方を知り、「鏡」を見つめること。第三に、古今東西の歴史に気づき、「ルー」を解くこと。第四に、これまでの思い込みをわすれ、「事実」を確かめること。第五に、敗者の視座で何度も現場に立ち、「謎」を解くことであり、第六に、古人の名譽回復のため、「真実」を正すこと。第七に、何かを変えようとする、万事に関心を持ち、



歴史研究会肥後熊本大会では、細川家の史料などに関する講演がある

「日本」を悲すことである。何とも、確まじい覚悟ではあるまいか。

創立以来の主旨をつとめる吉成勇氏は、道楽には旺盛な気力で「好奇心」、「探究心」を燃やしつつは、何事も楽しみに変える、不思議な力がある、と力説する。

「これが、人生最高の目的である」とも。

なるほど、年齢、性別、研究テーマを越えて、「歴史研究会」は日本唯一最大の

この度、神靈の宿る杜や川に囲まれた、熊本で行われる全国大会では、講演や祝賀、見学会などが、種々に予定されている。

歴史に関心のある方は、ちよつと会場を覗いてみては、いかがであるか。人生を一変させる、出会いはあるかもしれない。

◇歴史研究会全国大会肥後熊本大会 10月18日は午後1時半から、熊本市中央区桜町の熊本交通センターホテルで。式典後の記念講演では、稲葉穂陽・熊本大永青文庫研究センター副センター長が「近世史研究の最前線—永青文庫細川家史料から」、元九州考古学会長の島津義昭さんが「古代ロマンの宝庫くまもと」と題して話す。19、20日は、細川家の菩提寺・泰勝寺や熊本城、靈巖洞、田原坂古戦場、鞠智城跡公園などを巡る見学会がある。大会実行事務局 ☎096(328)5638。